

穂高連峰明神岳（岳沢～奥明神沢～明神岳）山行報告

(山 域) 穂高連峰 明神岳 岳沢

(コース) 上高地⇔岳沢

(日 時) 平成 30 年 5 月 3 日 (木) ～5 日 (土)

(天 候) 3 日 雨～曇り一時晴れ～雪

4 日 雪

5 日 雪～曇り～晴れ

(参加者) CL 田中 (記録) 小俣

(山行タイム) 3 日 上高地 10 : 30 ➡ 岳沢小屋 13 : 15 (小屋泊)

4 日 停滞 (小屋泊)

5 日 岳沢小屋 6 : 30 ➡ 上高地 8 : 30

(山行報告) 3 日 天候が朝方まで雨天予想で自宅発を未明 2 時に変えて市原を出発する。
タクシー予約は 9 : 45 に迎えを頼み 10 時過ぎに上高地入りをする。
雨もほぼ止んできて、ゆるりと岳沢目指して 2 時間 30 分余りで小屋につく。
小屋で受付をするとお客は皆さんキャンセルで数人が居る程度でゆったりと
過ごせるとことになる。早速、雪見酒と一人でチビりちびりとしていると、
船山の N さんから挨拶される。聞くと南稜～奥穂～涸沢を明日やると言う。
しばらくすると今度は岳樺クラブの M さんから挨拶をされ、私たちと同じ奥明
神沢～明神岳と西穂沢～西穂を遣ると言う。
互いにガンバローと誓い合い小屋内でしばし語らいの時間を過ごす。



【岳沢小屋よりの奥明神沢を見て明神岳稜線を望む】

4 日 朝より雪で停滞を決める。(終日 雪)

5 日 天候次第では奥明神沢⇔明神岳に行くつもりであったが朝方まで雪が降り続き、止んでからでは帰宅が困難と考え、下山を決断し早々と上高地に降りる。
本当はのんびり風呂を考えたが、高速の込み具合を考えて風呂なしで帰路につく。

それでも渋滞2時間以上であったが、16:00ころに自宅に帰り着くことが出来た。

終日雪を愛でて過ごす



【4日より降り続く雪と岳沢雪景色とテントの灯】



【帰路の上高地風景】